福井県衛生環境研究センター研究員活動報告　概要

発表演題名	福井県におけるＲＳウイルスとヒトメタニューモウイルスの検出状況
学会名	平成１９年度地研東海北陸支部微生物部会
発表者名	中村　雅子（保健衛生部）
開催場所	名古屋市　アイリス愛知
開催日時	平成２０年３月６日（木）
発表内容	2005 年 8 月から 2007 年 12 月の期間、福井県内の小児科および高齢者施設において採取された鼻咽頭ぬぐい液 320 検体を検査し、ＲＳウイルス（RSV)を 65 検体、ヒトメタニューモウイルス(hMPV)を 27 検体検出した。RSV は 11 月から翌年 1 月にかけての冬期間に多く検出され、hMPV は 3 月から 6 月に多く検出された。B 型の RSV は G 領域に 20 個のアミノ酸が挿入された変異株であった。2007 年 11 月下旬から 12 月中旬にかけて、県内の１保育所において RSV 感染症の流行があった。